

科目名 (科目番号)	精神看護学実習 (時間割参照)	教員名 浅野 均他	学科等	看護	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			授業形態	実験・実習	オフィスアワー	各教員研究室	
授業概要	精神看護学概論、精神看護学援助論、その他関連する既習の学問を基礎に、精神に障がいを持つ人々に関心を寄せ、生きづらさを理解し、その人の持つストレスに注目しながら、また患者や利用者との対人関係を振り返ることで自己洞察を深めながら、その人らしいリカバリーを支える看護について学ぶ。 また、地域包括的精神保健福祉における看護の役割と実際に学ぶことをねらいとする。						
目的・目標	精神に障がいを抱えている対象の理解を深めるとともに、人間関係構築の基盤となる能力を習得し、その人らしい生き方が出来るような支援に必要な看護実践能力を養う。						
準備学習							
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容				
	学習内容 精神に障がいを抱える対象者が、その人らしい生き方が出来るように関り、その援助過程で生じる対象の反応や自己の抱いた感情や思考を振り返り整理しながら精神看護について学ぶ。						
	到達目標 1. 精神障がいを持つ対象への理解を深め、精神機能および生活機能についてアセスメントができる。 2. 対象のセルフケア能力や生活上の困難に焦点をあて、強みを生かした看護の展開ができる。 3. 対象との関わりを通して自己理解を深め、治療的人間関係構築に向けた技術が習得できる。 4. 地域での生活を継続するために必要な社会資源や、精神科医療を支える多職種連携と看護の役割を考察できる。 5. 学習者として責任ある行動ができ、精神科看護に対する自身の看護観について考察できる。						
	※オンライン・学内実習に変更があった場合は、ペーパーペイシメントとなる。						
	※オリエンテーション担当：外部講師 ほびき園指導者 石塚 明典						
成績評価の方法・基準	精神看護学実習評価表に基づき評価する						
教科書	①精神看護学[1]「精神看護の基礎」 ②精神看護学[2]「精神看護の展開」		①②著者代表:武井麻子		①②医学書院		
参考図書	精神看護学学生患者のストーリーで綴る実習展開 ストレングスマodel実践活用術 看護場面の再構成		田中美恵子 萱間真美 宮本真巳		医歯薬出版株式会社 医学書院 日本看護協会		
教員からのメッセージ	・病院や施設などで勤務経験のある看護師が授業を担当します。 ・精神障がいを持つ人々の生きづらさについて自身の感じ方や考え方を深め、社会生活においても暖かな対応が出来るようになることを望みます。 ・オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合には、オンラインクラスでシラバスの変更を周知いたします。						